

家畜衛生だより

令和7年7月発行
最上家畜保健衛生所
最上地域家畜畜産物衛生指導協会
TEL：29-1357 FAX：23-2944

子牛の下痢症対策について（感染性下痢）

子牛の下痢症は、死亡・肺炎の併発・発育不良などを引き起こすことがあり、経済的損失につながります。様々な原因が考えられますが、**昨年度、当所で検査した下痢症の多くに、ロタウイルス・クリプトスポリジウム・コクシジウムが関わっていました。**

今回は、子牛の下痢症のうち、ウイルス・細菌・寄生虫（クリプトスポリジウム・コクシジウムなど）による**感染性下痢の予防対策**について紹介します。

●農場への病原体の侵入防止

車両消毒・長靴の交換・踏み込み消毒槽など

飼養衛生管理基準を遵守して農場への病原体の侵入を防止しましょう。



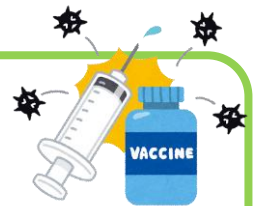
●ワクチンによる予防

分娩前の母牛へのワクチン接種

分娩前に母牛へのワクチン接種を行い、母牛の抗体産生を促します。母牛で作られた抗体は初乳を介して、子牛へ受け渡されます。

例：下痢5種ワクチン

（牛ロタウイルス感染症・牛コロナウイルス感染症・牛大腸菌症などに有効）



●免疫力を高める

初乳の適切な摂取

初乳の摂取をすることで子牛は免疫を高めます。出生後、できるだけ早く十分な質と量の初乳を与えましょう。

クリプトスポリジウムには卵黄抗体製剤や木酢酸粉末が有効であることが報告されています。



●寒冷ストレスの緩和

気温による環境変化

冬など気温が低下する季節には寒冷によるストレスから下痢を発症することもあるため、十分に注意しましょう。

対策としては・・・カーフジャケットなどによる保温を行う



●病原体を広げない

発症牛の隔離

感染性下痢の発症牛がいる場合は隔離を行い、感染拡大防止に努めましょう



裏へ→

●牛舎の汚染を低減する

適切な消毒

分娩房や子牛房の定期的な清掃や消毒を行い、清潔な飼養環境を整えましょう。
適切な消毒薬を用い、適切な方法で行うことが重要です。
また、牛舎だけでなく、使用器具の消毒も行いましょう。



【有効な消毒薬と病原体一覧表（代表的な病原体と消毒薬）】

消毒薬の種類	病原体			細菌		ウイルス		寄生虫
	大腸菌、サルモネラ	炭そ菌、クロストリジウム	結核菌	コロナウイルス ※エンベロープあり	ロタウイルス ※エンベロープ無し	クリプトスポリジウム、 コクシジウム		
逆性石けん (4級アンモニウム塩)	○	×	×	△	×	×		
塩素系 (複合塩素、ジクロロイソシアヌル酸)	○	△	○	○	○	×		
ヨウ素系	○	△	○	○	△	×		
アルデヒド系	○	△	○	○	○	△		
オルソ剤	○	×	○	△	×	○		

※エンベロープ・・・ある特定のウイルスが持つ脂質構造のこと。

!! クリプトスポリジウムやコクシジウムは、各種消毒薬に抵抗性が強く、特に対策が困難となりがちです。表に示したオルソ剤以外に、汚染箇所の念入りな洗浄、熱湯や乾燥による消毒、ドロマイト石灰乳による病原体の封じ込めが有効です!!

★牛舎の適切な消毒方法★

※スチームクリーナー等の消毒機械、貸出(有料)します!
(最上地域家畜産物衛生指導協会)

① 畜舎の清掃、洗浄、水洗

糞などの有機物が残っていると消毒の効果が低下してしまうため、消毒前に清掃、洗浄、水洗を行う。

② 熱湯消毒（スチームクリーナー等※）

クリプトスポリジウムやコクシジウムにも効果的! 高温の維持に注意。

③ 乾燥

十分な乾燥を。

④ ドロマイト石灰乳の塗布*や有効な消毒薬の散布*による消毒

ドロマイト石灰乳は、強アルカリ性で、さまざまな病原体に効果的!!



ご不明な点等は、最上家畜保健衛生所まで。電話番号 0233-29-1357